

金川町・田園町における 住民主体のコミュニティバスの運行



平成29年1月20日 地域バス活性化セミナー・地域公共交通フォーラム
(金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会)

取組のポイント

① 毎月1会の運営協議会の開催



② みんなが当事者、
様々な方々との連携



③ 持続可能な運行に向けた取組

毎月1回の運営協議会



毎月1回協議会を開催し、みんなで検討！

- 毎月の運行実績（利用者数や収支率）の確認と共有
- 運行実績に基づいた利用促進策の検討
- 利用者の声の確認

一体感、連帯感の醸成
危機感もみんなで共有

地域の交流を増やすようなバスの取組をしよう

○定例ランチ会事業の検討

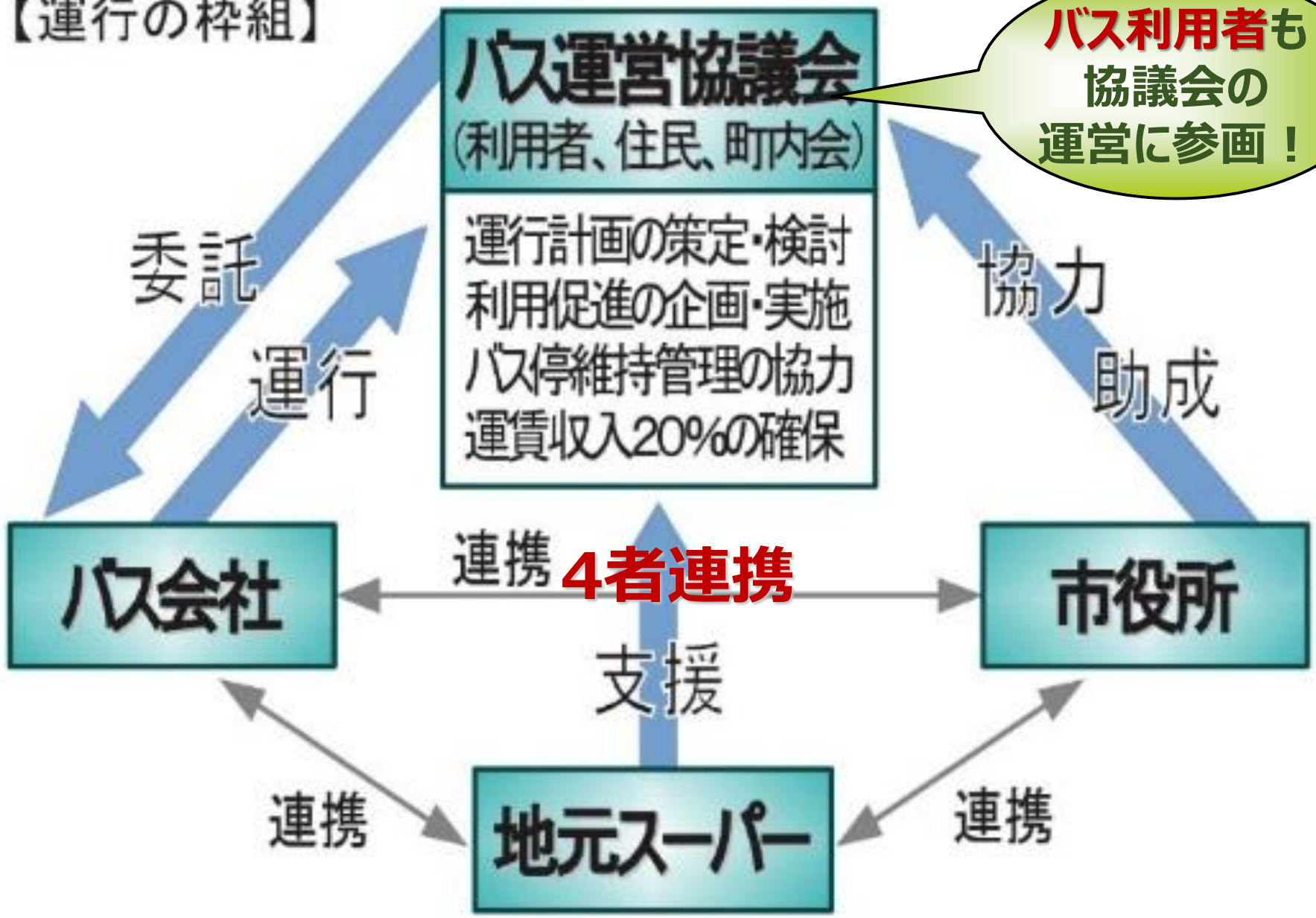
利用者の声を聞き、運行の改善を検討しよう

○バス停増設の検討
○金曜日運行(増便)の検討

みんなが当事者、様々な方々との連携①



【運行の枠組】



バス利用者も協議会の運営に参画!

みんなが当事者、様々な方々との連携②



全戸配布

金川町 田園町

さわやか号



H27.1.1号 住民コミュニティバス だより

「さわやか号」の運行に 多くの応援をいただいています！！

運行開始から2ヶ月が経過しようとしている「さわやか号」ですが、毎日約15人の方々にご利用いただいております。週4日、1日3便と小さい運行ながらも、バスを必要としている方々の「おでかけの足」として確実にご利用いただいております。「このバスを運行することができて良かった」と思うとともに、「末永くこのバスを継続していかなければならない」との使命感も改めて感じています。

このような中、先月より、「さわやか号」応援寄付金を募集いたしましたところ、多くの方々から寄付金と応援メッセージをいただきました。金川町・田園町の多くの方々が「さわやか号」を応援してくださり、本当に心強く感じます。今後とも、私たちのバス「さわやか号」を、みんなで乗って、支えて、育てていきましょう。(会長 菊地)

今はまだ利用する機会はありませんが、将来利用する日が来るまで、末永く運行できますように。頑張ってください！

活発で楽しい協議会運営で、バスと地域の両方を育てていって下さい。

10年後にはお世話になります。交通弱者の足を確保することは地域にとって必要です。市内全域に広がることを願っています。

応援メッセージ

※全てのメッセージを掲載できず申し訳ありません。その他、多くのメッセージを頂いています。
※引き続きの応援をよろしくお願いいたします。

長〜く続けてください。やがては路線がふえたらいいですね。

車のない私にとって、とても助かります。

「さわやか号」の運営、運行に応援したいです。乗ってみてバス自体も良いですね。頑張ってください。

スタートの時だけ…とならないように、しっかりと運行の維持に頑張ってください！！

両町内会と隣町内が一体となり、この「さわやか号」を益々発展して、地域のかけがえのない足となり定着することを祈念します。

「さわやか号」応援寄付金活動

バスに乗らなくても寄付で応援してくれる方々、近隣の町内会様、リオン・ドール様など、地域ぐるみで継続して支援・連携いただいている。

金川町・田園町コミュニティバスをご利用の皆様へ



リオン・ドールコジカカード 特典のご案内

金川町・田園町コミュニティバスを
ご利用の皆様だけの特典!!

※リオン・ドール神明通り店限定



住民コミュニティバス会員券をお持ちの方
1回のご精算1,000円(税抜)以上で
20ポイント進呈!

※必ず「リオン・ドールコジカカード」と「住民コミュニティバス会員券」をご提示ください。

リオン・ドールポイント券6枚で
(2,000円相当)
住民コミュニティバス会員券を
交換できます! (2,500円相当)
リオン・ドールポイント券3枚+現金1,500円でもOK



こちらの
お店でも

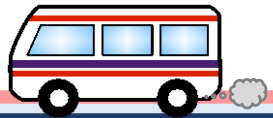
リオン・ドールコジカカードにポイントが貯まります!!

リオン・ドールコジカカード サービス提携店

(平成27年8月現在)

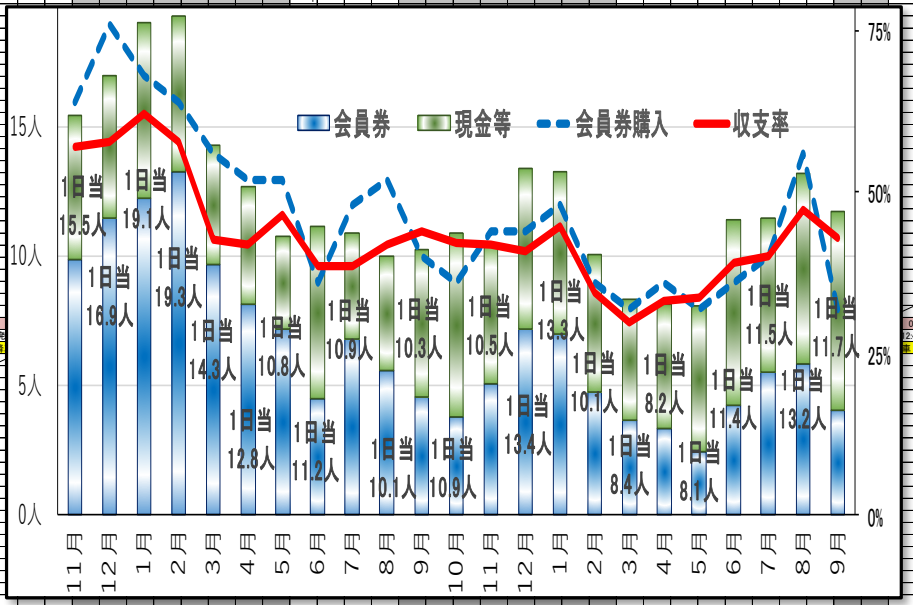
リオン・ドールによるポイント支援

持続可能な運行に向けた取組①



毎日のダイヤやバス停ごとの乗降数を、バス事業者に把握してもらい、それを毎月の協議会で共有している。

9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	集計	
<div data-bbox="86 392 966 521" data-label="Text"> <p>地域で取り組んでいるからこそ、どうして利用者が減ったか、増えたのかがわかる</p> </div> <div data-bbox="1101 392 1825 521" data-label="Text"> <p>実情に応じた運行方法や利用促進策の検討が可能となっている</p> </div> <div data-bbox="289 556 792 1099" data-label="Text"> <p>「今月は〇〇さんが、怪我をして乗らなくなったので利用者が減っている」</p> <p>「この週は〇〇さんになったので増えている」</p> </div>																															





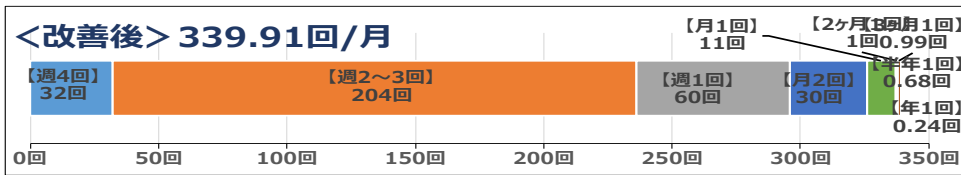
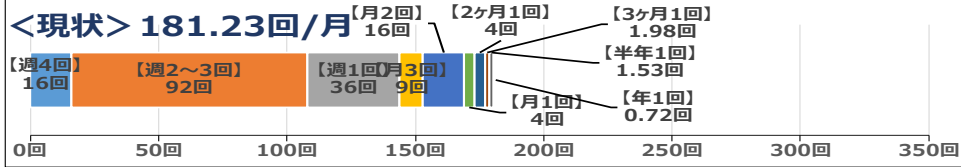
持続可能な運行に向けた取組②

運行改善・利便性向上の検討材料とするため、利用者等を対象にアンケート調査を実施

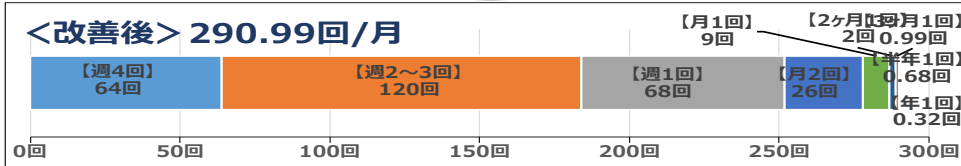
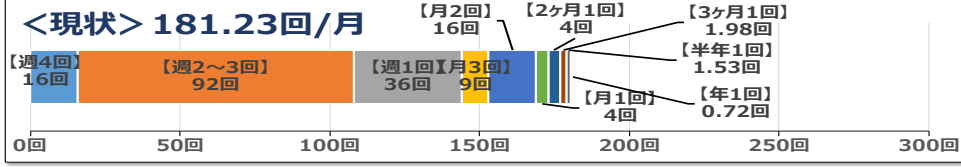
地域が実施するからこそ、信頼性の高いアンケートが実施できる

実質的な需要に基づいた運行方法を検討することが可能に

◆ 運賃200円とした場合の利用回数



◆ 金曜に運行した場合の利用回数



記名式でのアンケート

氏名		年齢	
住所		性別	1. 男性 2. 女性

「さわやか号」の利用状況についてお伺いします。
 「さわやか号」は平成26年11月から運行をはじめています。この約1年4ヶ月の間の利用状況について教えてください。良くバスを利用される方は直近の利用状況を教えてください。

問1 利用した頻度を教えてください。(ひとつだけ○)

1. 週4回程度	2. 週3回程度	3. 週2回程度	4. 週1回程度
4. 月3回程度	5. 月2回程度	6. 月1回程度	
7. 2カ月に1回程度	8. 3カ月に1回程度	9. 半年に1回程度	
10. 1年間に1回程度	11. 一度も利用したことはない		
12. 運行当初は利用していたが今は全く利用しなくなった			

問2 主に利用した曜日を教えてください。(ひとつだけ○)

1. 月曜	2. 火曜	3. 水曜	4. 木曜	5. 曜日に関係なく利用していた
-------	-------	-------	-------	------------------

問3 主に利用した便(時間帯)を教えてください。

<町内発(行き)>ひとつだけ○

1. 9:40発の便	2. 11:00発の便
------------	-------------

<竹田病院発(帰り)>ひとつだけ○

1. 10:30発の便	2. 11:20発の便
-------------	-------------

問4 主に利用した目的を教えてください。(2つだけ○)

1. 通勤	2. 通学	3. 通院	4. 7. 社交・娯楽・習い事
-------	-------	-------	-----------------

問5 利用した理由について教えてください。(ひとつだけ○)

1. タクシーよりも安いから	2. 送迎してもらえないから
3. 一人で自由に行動したいから	4. 自転車よりも安全だから
5. 歩きよりも楽だから	6. 利用していない

<配布数>
 ・164枚

<回収数>
 ・114枚

<回収率>
 ・70%



持続可能な運行に向けた取組③

金曜日運行(増便)の実現(10月～)

- ・月～木 週4日の運行を、金曜日も運行し週5日の運行とすることで利便性を高める
- ・ただし、増便することにより費用も増えることから、1年数ヶ月の運行実績を分析するとともに、5月には利用対象者へのアンケート調査と分析を行い、**増便しても持続可能な運行かどうか協議会で議論し判断**

<1月運行分を基準とする>

費用					運賃		収支率
日数	回数	距離	キ、単価	利用者	(1日当)		
124,312円	15日	3回	8.8km	314円	55,638円	199人 (13.3人)	45%
増	増			そのまま	そのまま		悪化
費用					運賃		収支率
日数	回数	距離	キ、単価	利用者	(1日当)		
157,462円	19日	3回	8.8km	314円	55,638円	199人 (10.5人)	35%
増	増			増	減		維持
費用					運賃		収支率
日数	回数	距離	キ、単価	利用者	(1日当)		
157,462円	19日	3回	8.8km	314円	71,500円	252人 (13.3人)	45%

さわやか号定例ランチ会(6月～)

- ・毎週第3木(金)曜日は誘いあって、「さわやか号」でおでかけして、神明通りでランチ♪
- ・「さわやか号」を利用した**ライフスタイルを体験**していただき、通常のバス利用につなげている。
- ・バスの利用促進だけでなく、**高齢者の交流の場**ともなっている。
- ・6月から計7回開催。のべ**92人の参加**



地域ならではの取組

10/21定例ランチ会の様子



持続可能な運行に向けた取組④

バス停の増設

・道路が狭隘で、公道上のバス停の増設がなかなか難しい
 ⇒運営協議会メンバー(バス利用者)に協力いただき、**民地**にバス停を増設

「金川町北」バス停



地域が主体となるからこそできる取組

ロコミによる利用拡大

・金曜日運行を盛り込んだ新しいリーフレットを作成・全戸配布
 ・メンバー各々が**ロコミ**で利用拡大に取組む

金川町 田園町
住民コミュニティバス

4日から運行します！
 金川町・田園町の住民の生活の足を支えるために、地域の発展をよく知る私たち住民が主となって行っています。例えば、利用促進のための定例ランチ会や乗車体験ツアーなども実施しています。
 このバスを地域が主体となって「育て」そして「守って」いくことが重要ですので、積極的に利用をお願いします。

【問い合わせ】
 ◆金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会(二基事務局長)
 TEL.090-2021-3523
 ◆金津泉自動車株式会社
 TEL.22-5560
 平成28年10月改正

時刻表 運行日 月、火、水、木、金 祝日及び年末年始(12/31~1/3)運休

バス停	第1便	第2便	第3便
金川町児童会館	9:35	11:00	12:40
金川町東	9:36	11:01	12:41
金川町北	9:36	11:01	12:41
大谷青果店北	9:38	11:03	12:43
田園町北	9:39	11:04	12:44
田園町町内会館前	9:40	11:05	12:45
ファミリーマート前	9:42	11:07	12:47
下大和町(ツタヤ)福栄会前	9:44	11:09	12:49
七日町角(二種眼科医院前)	9:45	11:10	12:50
七日町白木屋前	9:46	11:11	12:51
神明通り(ツタヤ(元長崎屋)前)	9:48	11:13	12:53
栄町中三丁目	9:49	11:14	12:54
桂林寺町	9:50	11:15	12:55
竹田病院前	9:52	11:17	12:57
竹田病院で待機	約30分	なし	約30分
竹田病院前	10:30	11:20	13:30
山鹿クリニック東	10:30	11:20	13:30
桂林寺町	10:32	11:22	13:32
栄町中三丁目	10:33	11:23	13:33
神明通り(リオン・ドール前)	10:34	11:24	13:34
七日町白木屋前	10:36	11:26	13:36
原の町	10:38	11:28	13:38
すがの屋前	10:40	11:30	13:40
ファミリーマート前	10:41	11:31	13:41
田園町町内会館前	10:43	11:33	13:43
田園町北	10:44	11:34	13:44
大谷青果店北	10:45	11:35	13:45
金川町北	10:45	11:35	13:45
金川町東	10:47	11:37	13:47
金川町児童会館	10:50	11:38	13:50

運賃

◆1回乗車
 大人300円/小人150円
 ※小人:6歳~12歳(小学生まで)

◆普通回数券

券種	枚数	発売額
100円	11枚	1,000円

【ご案内】
 ●回数券は金川町・田園町住民コミュニティバス専用で、他路線には使用できません。
 ●会津バス車内または窓口での販売

◆会員券 1ヶ月券 2,500円
 ついてもおトクな「会員券」
 1ヶ月乗り放題!!

【ご案内】
 ●この券は「金川町・田園町住民コミュニティバス」専用の会員券です。
 ●有効期間は1ヶ月とし、月初めから月末までです。
 ●再発行・払い戻しはいたしません。
 ●金券です。
 ●出張販売
 毎月、第4木曜日(於:金川町児童会館)にバス乗券購入会を開催し、乗券購入・問合させていただきます。
 ●コミュニティバス車内での販売
 バス乗券購入会無しでください。
 ●ポイント・神明通り店サービスカウンターでの販売
 【申込み・お問合せ】
 金津泉自動車株式会社 営業課 TEL.22-5560

【乗員の買い回り方】
 ★乗車券に居住するご家庭に限り、会員登録料が100円引きでご利用いただけます。
 ★乗車券を複数枚購入は、運賃(210円)が半額(105円)にてご利用いただけます。但し、乗り賃割引の併用はできません。

バス乗車のご案内

竹田総合センター
 ・竹田総合センター
 ・竹田病院前
 ・山鹿クリニック
 ・ファミリーマート前
 ・神明通り(ツタヤ)福栄会前
 【内訳】山鹿クリニック(約100m)
 ・七日町角(バス停)付近
 【乗】二種眼科医院(バス停)付近
 【内訳】二種眼科医院(約200m)
 【乗】松山山科医院(約230m)
 ・七日町白木屋前(バス停)付近
 【内訳】鈴木内科(約90m)
 【乗】前田眼科医院(約300m)
 ・神明通り(バス停)付近
 【内訳】吉田内科(約100m)
 【内訳】山鹿クリニック(約100m)
 ・栄町中三丁目(バス停)付近
 【内訳】山鹿クリニック(約150m)
 ・桂林寺(バス停)付近
 【乗】右田眼科(約70m)
 【内訳】桂林寺(約90m)
 【乗】桑原眼科(約130m)

もし、バスがない時は
 あいつタクシー
 TEL.0120-69-2468 (9:30~19:00)

【その2】
 大谷青果店北バス停から徒歩5分
 現金購入の割引が優待!!
 乗車料100円引き
 *現金1000円代支OK

レオラジー・テラスエリア
 ・神明通り(バス)から徒歩5分
 ・ツタヤ(TSUYAYA)
 ・本、CD、DVD、パソコンが揃い
 【予約・購入・送料・送料】
 ・車、廊下、スチールなど多様な商品

社会活動・読書に!!

会津若草堂 会津格古堂
 ・「神明通り」バス停から徒歩約6分
 ※ツタヤ(元長崎屋)が隣接する
 と、読書の「活版所」
 【中・大・小・児童・幼児】
 ・団体の会合に便利、催物がいっぱい
 【お問い合わせ】
 ・読書会や講座など開催も大歓迎



持続可能な運行に向けた取組⑤

2014年(平成26年)11月21日(金曜日)

(2)

論

説

若松の住民バス

会津若松市で町内会が運行組織をつくり、今月四日から「住民ミニコミュニティバス」を走らせている。地域住民が主体となるのは珍しい。「自分足は自分で守る」意識を持ち、実現にこぎ着けた。地方の公共交通の新しい在り方を示し、地域づくりにつながる取組みとして注目した。

会津若松市で町内会が運行組織をつくり、今月四日から「住民ミニコミュニティバス」を走らせている。地域住民が主体となるのは珍しい。「自分足は自分で守る」意識を持ち、実現にこぎ着けた。地方の公共交通の新しい在り方を示し、地域づくりにつながる取組みとして注目した。

地元負担を明確にしたのが特徴だ。必要経費のうち運営収入は20%以上を見込み、国と市が補助する。同社も一部を負担して協力する。運営収入が目標に達しない場合は協議会が補う。運営基盤を固めるため、同社は乗りの放題月額二千五百円の会員券を発行した。リオン・ドールコーポレーションは会員券を提示した買い物客の利用ポイント増などのサービスを始めた。住民、行政、バス会社、商業施設が役割を分担する「協働」が運行の原動力となった。利用者は三便合わせて一日十五人ほど。協議会は「滑り出したままです」とみている。二十五人乗ると、必要経費金額を運営収入だけで賄える計算だ。

同町はR会津若松駅西側にあり、約千八世帯、約二千八百人が住む。路線バスがなかったことから、会津乗合自動車と市は平成十三二

会方式を導入した。全国的には市町村が運営主体となる事例がほとんどだ。

協議会は通院、買い物以外の利用をアピールし、必要の掘り起こしに懸命だ。會津稽古堂の催し、會津図書館の案内などを町内回覧文に掲載する。口コミでも利用を呼び掛ける。利用者が増えれば便数増など使い勝手の良い運行ができる」と訴えている。

「地域主体」で継続を

十四年に実験運行した。利用者数が少なく、定期路線は実現しなかった。だが、続行を望む声が強かったため、住民、市、同社は協議を重ねた。利用希望の調査を基に、三者の負担が過大にならない運行回数をはじめ出した。地元の熱意を反映させるために協議してほしい。(鞍田 炎)

公共交通の在り方を住民参加で考え、実行する金川町・田園町の方式は自立的な地域づくりの模範といえる。市はモデル事例と位置付ける。公共交通の空白地域は他にもある。成果や課題を検証し、地域の実情に即した方式を模索

執筆陣をホームページ(<http://www.minpo.jp/>)で紹介



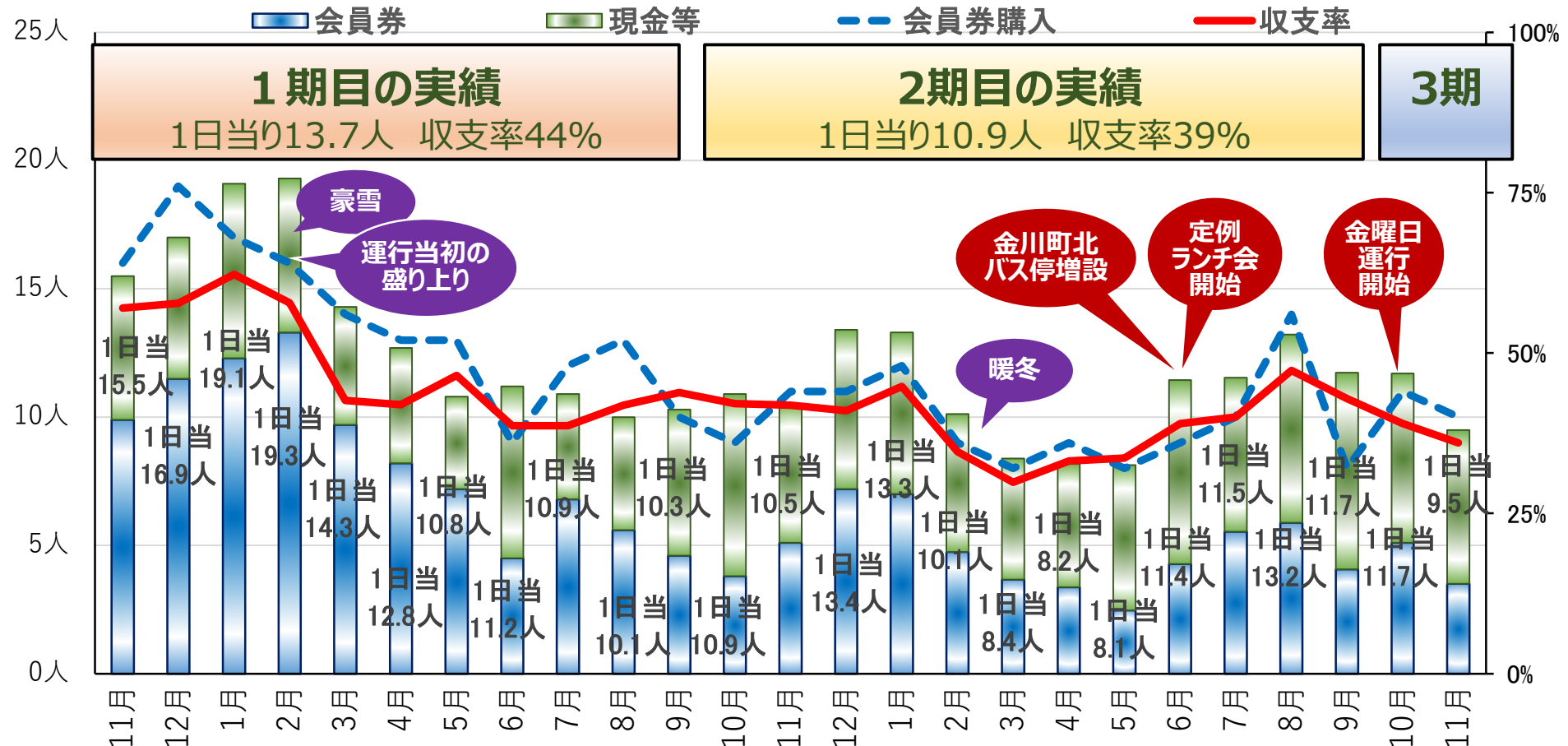
おでかけ交通博inやまがた(11/11)



福島自治研修センターの視察(9/29)

事例発表や視察受け入れ、マスコミからの取材などの機会をいただくことで、自分達の取組を見つめ直すとともに、活動に刺激をいただいている

運行実績について



1期目は、地域の盛り上りや豪雪により非常に順調な滑り出し。

2期目当初は、例年に無い暖冬などにより利用者は減少傾向だったが...

定例ランチ会などの取り組みにより、利用者は回復基調にある。

利用促進の取り組みが重要であることを、改めて認識。



役員会の様子

毎月1回の役員会も、楽しく開催



運行2周年記念イベントの様子

町内の多くの人にも声をかけ、昼食を食べながら、楽しくイベントを開催

このバスの運行に対する責任・使命を感じながらも、地域みんなで楽しむことを忘れず取り組んでおります。
“小さなバス”として始まりましたが、今後、さらに地域に必要とされる“大きなバス”となるよう、少しずつ育てていきたいと考えております。

